

## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社 ロブテックス  
コード番号 5969 URL <https://www.lobtex.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理部長 (氏名) 森下 幸治  
定時株主総会開催予定日 2024年6月20日 配当支払開始予定日 2024年6月21日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月21日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 072-980-1110

2024年6月21日

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	5,925	0.4	354	27.0	433	12.1	279	11.0
2023年3月期	5,950	2.4	484	26.4	493	25.9	314	39.9

(注) 包括利益 2024年3月期 415百万円 (17.2%) 2023年3月期 354百万円 (65.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	149.87		6.0	4.8	6.0
2023年3月期	168.42		7.2	5.8	8.1

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(注) 当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	9,284	5,096	52.2	2,593.80
2023年3月期	8,773	4,750	51.5	2,418.24

(参考) 自己資本 2024年3月期 4,843百万円 2023年3月期 4,515百万円

(注) 当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	143	362	80	2,465
2023年3月期	27	92	137	2,603

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		0.00		30.00	30.00	56	17.8	1.3
2024年3月期		0.00		35.00	35.00	65	23.4	1.4
2025年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00		29.5	

(注) 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当30円、記念配当5円

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,070	2.4	300	15.3	300	30.8	190	32.1	101.75

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	2,000,000 株	2023年3月期	2,000,000 株
期末自己株式数	2024年3月期	132,592 株	2023年3月期	132,592 株
期中平均株式数	2024年3月期	1,867,408 株	2023年3月期	1,867,542 株

(注)当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,189	2.2	54	70.4	263	29.3	201	24.8
2023年3月期	4,283	2.5	184	154.7	373	53.2	267	46.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	107.66	
2023年3月期	143.08	

(注)当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	7,796	4,113	52.8	2,202.66
2023年3月期	7,517	3,871	51.5	2,073.14

(参考) 自己資本 2024年3月期 4,113百万円 2023年3月期 3,871百万円

(注)当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により経済活動が本格化する一方、原油や資材価格高騰・為替の変動による物価の上昇、ウクライナ情勢の長期化・中東情勢の緊迫化等の影響により、その先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、2023年8月に創立100周年(創業135周年)を迎えた当社グループでは、経営ビジョン「モノづくりのプロにゆえ、モノづくりのゆかしさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくるゆかしさを伝え広げる事で社会に貢献します」の発信と浸透を更に進め、経営課題である「業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る」を追求し、経営目標達成に向け努力してまいりました。

そして、その経営ビジョンを推し進めるにあたり、経営課題の解決に向けた機能的な組織への変更を2023年4月に実施しました。

モノづくり事業本部においては、営業部門の更なる強化、売上の増加と適正な利益確保を図るため、従来の営業企画部を「営業統括部」とし、企画・販促のみならず、多様化する販売網に柔軟に対応するため、営業部門全体の統括機能と併せ、新規販売ルート攻略の最適化・最大化を図るため、各営業部の横断的組織としての機能を持たせました。各営業所については、地域の販売を強化するため、地区管轄所長と地区担当者とが地域の売上を担い、営業統括部の所属として営業活動を行いました。

そして、市場が異なるファスナー・ファスナーツールとハンドツールについて、それぞれの営業戦略をより明確にするため、「第一営業部」の管轄は、ファスナー関連中心の機工系の代理店とし、「第二営業部」の管轄は、ハンドツール関連中心のプロショップ・ホームセンター・金物系の代理店としました。特にファスナー関連の商品については、グループ会社でありファスナー専門商社の株式会社ロブテックスファスニングシステムと連携の下、営業力の強化を図り、同社の管理、品質、技術部門を当社と連携することで販路拡大に特化・集中できる体制を築きました。

海外部門については、グローバルな展開により大きく販売増を目指すため、第二営業部より「海外営業部」として独立させました。

また、“ロブスターブランド”の生産拠点である鳥取ロブスターツール株式会社では、モノづくりの合理化を図るべく、モノづくり合理化推進室にて、合理化推進と新規事業の検討を行っております。

更に経営課題であります“利益体質の強化”を図るべく、現状課題については各種プロジェクトを発足し部門横断的に解決策を検討、実務部門に展開してまいりました。そして、未来を見据えた目指すべき将来像についても各種会議体にて描いており、新商品・新サービス情報を市場から収集し、それを商品実現という形でお客様にご提供するだけでなく、市場の大きな流れ（例えば技術動向等）をあらゆる切り口から検証し、市場が要求する新たな価値を創造し、商品化、サービス化することで「モノづくりのプロ」にお応えすべく推進してまいりました。

しかしながら、売上高は前年同期比0.4%減の59億2千5百万円（前年同期59億5千万円）となり、営業利益では同27.0%減の3億5千4百万円（同4億8千4百万円）、経常利益では同12.1%減の4億3千3百万円（同4億9千3百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益では同11.0%減の2億7千9百万円（同3億1千4百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 金属製品事業

国内売上は、OEM関連商品において、前年をカバーするだけの販売数量には及ばなかったものの、ファスニング関連商品において、省人化を目的とした自動機やシステム物件の引き合いが、増加傾向にあり、着実に受注に結びつきました。また、株式会社ロブテックスファスニングシステムにおいても建築・橋梁関連の物件が好調であったため増加しました。

海外売上では一部商品の欠品が影響し、韓国市場において作業工具類の販売が減少しました。なお、欠品については対策を講じ、現在では解消が進んでおります。

また、電設工具及びファスニング関連商品において、前年をカバーするだけの販売数量には及ばなかったものの、ファスニング関連商品においては、国内同様、自動機やシステム物件の引き合いが、増加傾向にあり、今後の売上に寄与するものと考えています。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比0.2%減の56億6千3百万円（前年同期56億7千2百万円）となりました。利益面では材料等の価格高騰や在庫評価に関する費用発生による原価率の悪化と減収影響が大きく、同34.7%減の2億2千4百万円（同3億4千4百万円）のセグメント利益となりました。

## ② レジャー事業

ゴルフ練習場における売上高は、更なるサービス向上や集客施策を実施してきましたが、一人当たりの売上高は、ほぼ横ばいであったものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行で人流が活発化する中、特需が落ち着き、入場者数が減少した結果、前年同期比5.8%減の2億6千1百万円（前年同期2億7千7百万円）となりました。セグメント利益については減収影響を主因に、同7.8%減の1億2千9百万円（同1億4千万円）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は9億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億1千万円増加しました。

## (資産)

流動資産は前連結会計年度末比1億9千1百万円増の6億2千8百万円となりました。これは主に現金及び預金が減少する一方で、棚卸資産や電子記録債権が増加したことによるものです。

固定資産は同3億1千9百万円増の2億9千8百万円となりました。これは減価償却の計上による減少がある一方で、設備投資の実施や投資有価証券の時価上昇による増加があったことによるものです。

## (負債)

流動負債は前連結会計年度末比4千1百万円増の2億5千8百万円となりました。これは主に買掛金が減少する一方で、短期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は同1億2千4百万円増の1億6千9百万円となりました。これはリース債務が減少する一方で、長期借入金が増加したことによるものです。

## (純資産)

純資産は前連結会計年度末比3億4千5百万円増の5億9千6百万円となりました。これは主に利益剰余金において配当支出による減少がある一方で、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による増加があったことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ1億3千8百万円減少（前年同期7千2百万円増加）し、2億4千6百万円となりました。

## &lt;営業活動によるキャッシュ・フロー&gt;

棚卸資産の増加や法人税等の支払いがありましたが、税金等調整前当期純利益や減価償却費の計上などにより、資金が1億4千3百万円増加（前年同期2千7百万円増加）しました。

## &lt;投資活動によるキャッシュ・フロー&gt;

有形固定資産の取得を主因に、資金が3億6千2百万円減少（前年同期9千2百万円減少）しました。

## &lt;財務活動によるキャッシュ・フロー&gt;

配当金の支払やリース債務の返済などがありましたが、借入金収入により資金が8千万円増加（前年同期1億3千7百万円増加）しました。

## (4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、原油や資材価格高騰・為替の変動による物価の上昇、ウクライナ情勢の長期化・中東情勢の緊迫化等の影響により、依然として、その先行きは非常に不透明な状況となっております。

このような見通しの中、当社グループでは、経営ビジョン「モノづくりのプロにこたえ、モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求にこたえとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の浸透と発信を更に進め、経営課題である「業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る」を追求し、経営目標達成に向け努力してまいり所存であります。

また、前年より引き合いが増加傾向にある、省人化を目的とした自動機やシステム物件といったファスニング関連商品や新規販路開拓を進めているハンドツール新商品においては、今後の売上に寄与するものと考え、より一層の強化を図ってまいります。

次期の見通しといたしましては、連結売上高で6億7千万円、連結営業利益で3億円、連結経常利益で3億円、親会社株主に帰属する当期純利益で1億9千万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準により作成する財務諸表が当社グループの経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況を示す上で適切であると判断しております。

また、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,930,171	2,791,637
受取手形	155,232	159,387
売掛金	927,972	919,388
電子記録債権	205,632	280,558
商品及び製品	1,152,516	1,260,246
仕掛品	351,431	426,527
原材料及び貯蔵品	271,832	355,403
その他	104,474	98,304
貸倒引当金	△4,886	△5,636
流動資産合計	6,094,377	6,285,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	754,514	762,230
機械装置及び運搬具 (純額)	66,105	268,211
工具、器具及び備品 (純額)	51,723	107,235
土地	668,226	668,226
リース資産 (純額)	226,329	205,598
建設仮勘定	130,535	28,757
有形固定資産合計	1,897,436	2,040,261
無形固定資産		
リース資産	11,860	15,502
その他	16,524	14,466
無形固定資産合計	28,385	29,969
投資その他の資産		
投資有価証券	504,909	667,873
退職給付に係る資産	118,961	147,803
繰延税金資産	113,585	87,128
その他	15,767	25,227
投資その他の資産合計	753,224	928,033
固定資産合計	2,679,045	2,998,264
資産合計	8,773,423	9,284,080

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	287,814	265,870
短期借入金	1,595,640	1,675,500
リース債務	44,248	51,098
未払法人税等	80,784	73,440
契約負債	55,553	48,954
その他	412,954	403,149
流動負債合計	2,476,996	2,518,013
固定負債		
長期借入金	1,353,911	1,469,466
リース債務	114,401	104,447
繰延税金負債	—	10,476
退職給付に係る負債	76,744	85,103
その他	480	480
固定負債合計	1,545,537	1,669,972
負債合計	4,022,533	4,187,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	3,043,741	3,267,581
自己株式	△164,523	△164,523
株主資本合計	4,330,263	4,554,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,584	289,575
その他の包括利益累計額合計	185,584	289,575
非支配株主持分	235,042	252,415
純資産合計	4,750,890	5,096,094
負債純資産合計	8,773,423	9,284,080



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	5,950,532	5,925,353
売上原価	3,902,529	4,012,421
売上総利益	2,048,002	1,912,931
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	570,515	549,751
退職給付費用	3,132	2,325
減価償却費	71,780	71,101
その他	917,745	935,585
販売費及び一般管理費合計	1,563,174	1,558,765
営業利益	484,828	354,166
営業外収益		
受取利息	24	23
受取配当金	17,827	18,247
受取家賃	4,012	3,859
助成金収入	316	71,907
為替差益	4,669	4,042
その他	5,524	9,602
営業外収益合計	32,374	107,683
営業外費用		
支払利息	22,197	24,903
その他	1,576	3,113
営業外費用合計	23,773	28,017
経常利益	493,429	433,832
特別利益		
固定資産売却益	—	1,593
投資有価証券売却益	—	376
特別利益合計	—	1,969
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	2,550	—
特別損失合計	2,550	—
税金等調整前当期純利益	490,879	435,801
法人税、住民税及び事業税	152,042	139,998
法人税等調整額	1,047	△11,584
法人税等合計	153,089	128,414
当期純利益	337,789	307,387
非支配株主に帰属する当期純利益	23,260	27,525
親会社株主に帰属する当期純利益	314,529	279,862

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	337,789	307,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,360	107,838
その他の包括利益合計	16,360	107,838
包括利益	354,149	415,226
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	330,743	383,853
非支配株主に係る包括利益	23,406	31,373

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	960,000	491,045	2,785,243	△164,155	4,072,133	169,370	169,370	225,635	4,467,139
当期変動額									
剰余金の配当			△56,031		△56,031				△56,031
親会社株主に帰属 する当期純利益			314,529		314,529				314,529
自己株式の取得				△367	△367				△367
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						16,214	16,214	9,406	25,620
当期変動額合計	—	—	258,497	△367	258,129	16,214	16,214	9,406	283,750
当期末残高	960,000	491,045	3,043,741	△164,523	4,330,263	185,584	185,584	235,042	4,750,890

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	960,000	491,045	3,043,741	△164,523	4,330,263	185,584	185,584	235,042	4,750,890
当期変動額									
剰余金の配当			△56,022		△56,022				△56,022
親会社株主に帰属 する当期純利益			279,862		279,862				279,862
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						103,990	103,990	17,373	121,364
当期変動額合計	—	—	223,840	—	223,840	103,990	103,990	17,373	345,204
当期末残高	960,000	491,045	3,267,581	△164,523	4,554,103	289,575	289,575	252,415	5,096,094

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	490,879	435,801
減価償却費	160,780	183,886
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△947	749
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,124	8,358
受取利息及び受取配当金	△17,852	△18,270
支払利息	22,197	24,903
助成金収入	△316	△71,907
為替差損益 (△は益)	290	1,196
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,593
ゴルフ会員権評価損	2,550	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△376
売上債権の増減額 (△は増加)	△39,148	△70,495
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△298,294	△266,803
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,117	△21,943
その他の資産の増減額 (△は増加)	△47,866	2,557
その他の負債の増減額 (△は減少)	△14,308	18,119
小計	233,968	224,182
利息及び配当金の受取額	17,852	18,270
利息の支払額	△22,742	△24,774
助成金の受取額	677	72,507
法人税等の支払額	△202,049	△146,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,705	143,966
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△553,200	△553,200
定期預金の払戻による収入	553,200	553,200
有形固定資産の取得による支出	△87,936	△336,939
有形固定資産の売却による収入	2,430	2,000
無形固定資産の取得による支出	△3,293	△4,543
無形固定資産の売却による収入	1,506	—
投資有価証券の取得による支出	△8,519	△8,310
投資有価証券の売却による収入	—	2,078
その他	3,585	△16,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,225	△362,275
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△716,731	△804,585
社債の償還による支出	△30,000	—
リース債務の返済による支出	△45,125	△44,421
自己株式の取得による支出	△367	—
配当金の支払額	△56,031	△56,022
非支配株主への配当金の支払額	△14,000	△14,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	137,744	80,971
現金及び現金同等物に係る換算差額	△290	△1,196
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	72,934	△138,534
現金及び現金同等物の期首残高	2,530,636	2,603,570
現金及び現金同等物の期末残高	2,603,570	2,465,036

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「金属製品事業」は、作業工具・ファスニングツール・工業用ファスナー・電設工具・切削工具等の製造販売をしております。「レジャー事業」は、ゴルフ練習場の運営をしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	連結財務 諸表計上額
	金属製品 事業	レジャー 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,672,571	277,960	5,950,532	—	5,950,532	5,950,532
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,672,571	277,960	5,950,532	—	5,950,532	5,950,532
セグメント利益	344,527	140,300	484,828	—	484,828	484,828

(注) 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	連結財務 諸表計上額
	金属製品 事業	レジャー 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,663,384	261,968	5,925,353	—	5,925,353	5,925,353
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,663,384	261,968	5,925,353	—	5,925,353	5,925,353
セグメント利益	224,809	129,357	354,166	—	354,166	354,166

(注) 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,418.24円	2,593.80円
1株当たり当期純利益	168.42円	149.87円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益」を算定しております。
- 3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	314,529	279,862
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	314,529	279,862
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,867	1,867

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。